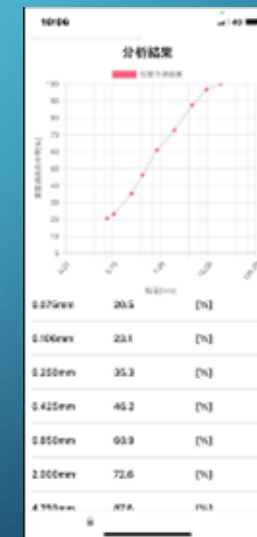
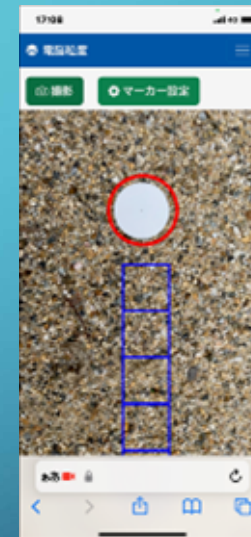
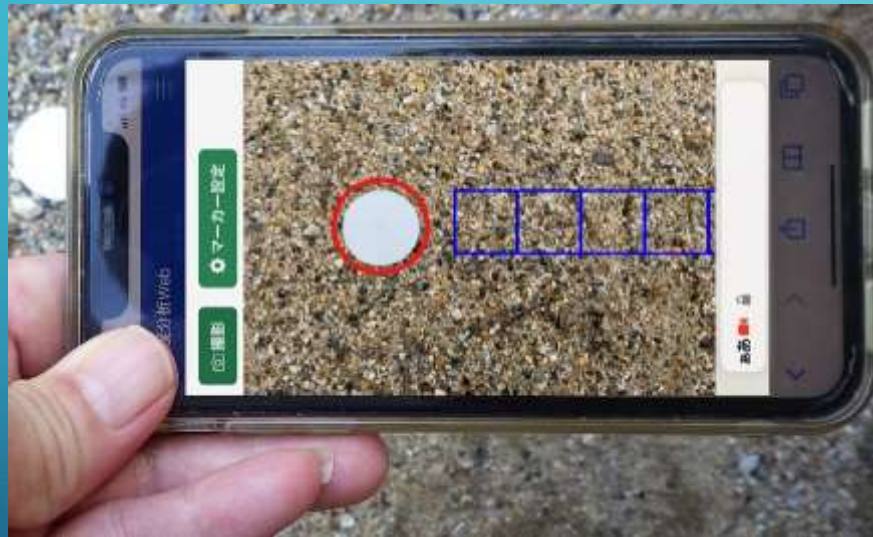
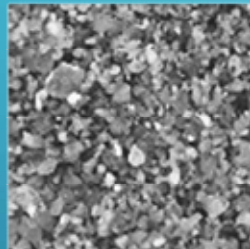
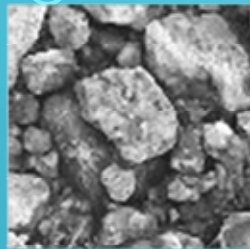


電腦粒度(粒度分析AI) 現地仕様手順書

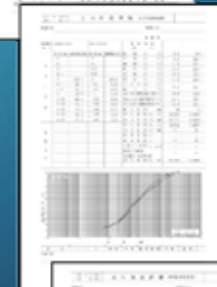
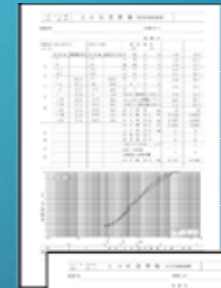
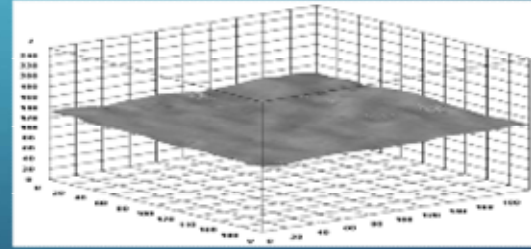
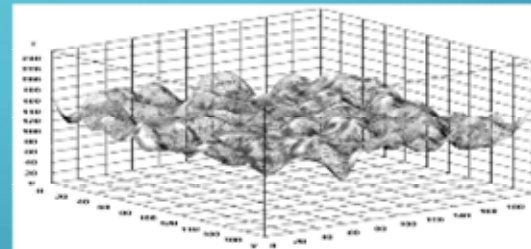
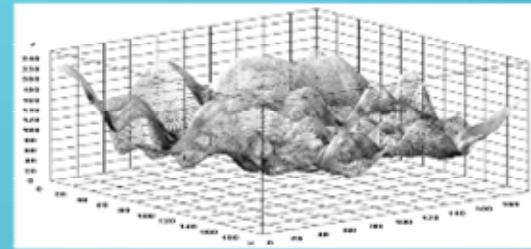


基礎地盤コンサルタンツ株式会社

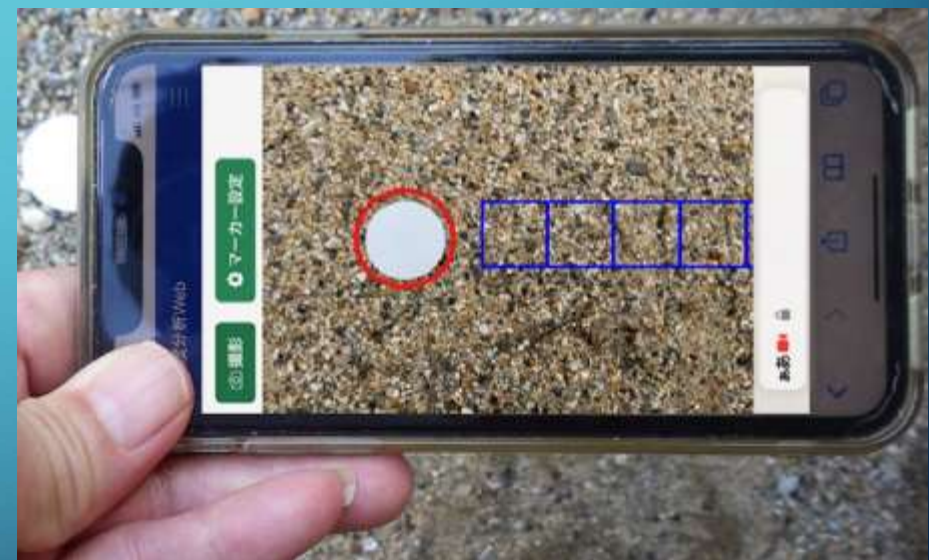
本アプリは「土粒子の数を数える」のではなく
その「手触り」を再現させたAIを搭載しています



疑似3D化



- 分析に用意する器材は、
- ・スコップや均しこて
 - ・円形のスケール
 - ・Webに接続できる端末



準備は簡単！
土を均してスケールを添えるだけ
(凸凹やクラックが無いようにすることが
精度向上のコツです)



○ 電脳粒度は光の影響を強く受けます
実行は日陰や間接照明下で行ってください
また、礫を多く含む場合は深さ5~10mmのト
レイで試料を敷き均してください



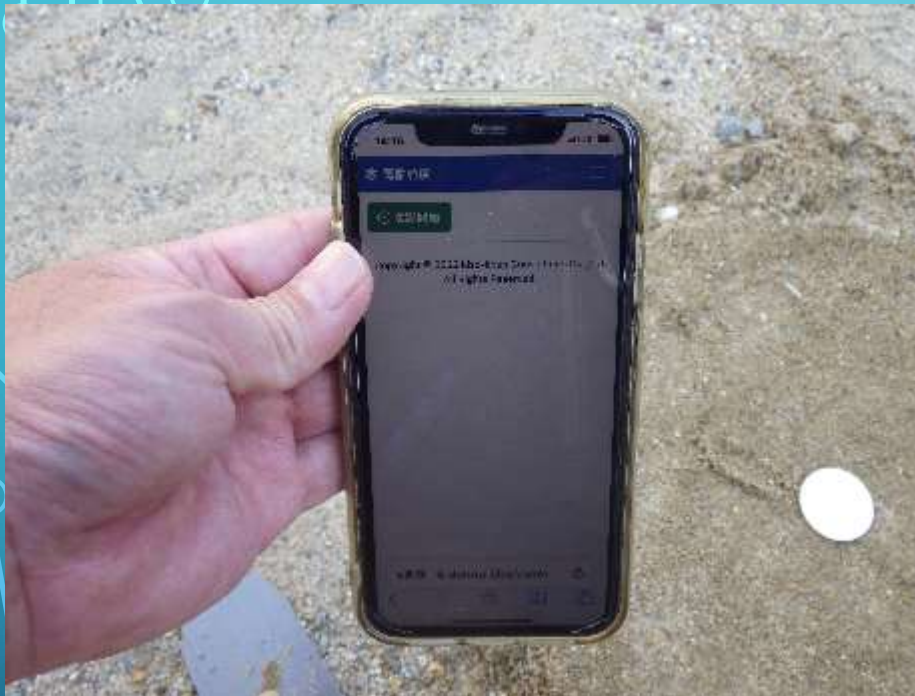
スケールはφ35mmの円形プレートや
φ40mmのピンポン玉、ステンレスワッシャー
でも可能です
(φ20~40mmの任意値を設定できます)



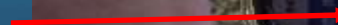
傾斜のある個所では
重量のあるワッシャーが便利かもしれません



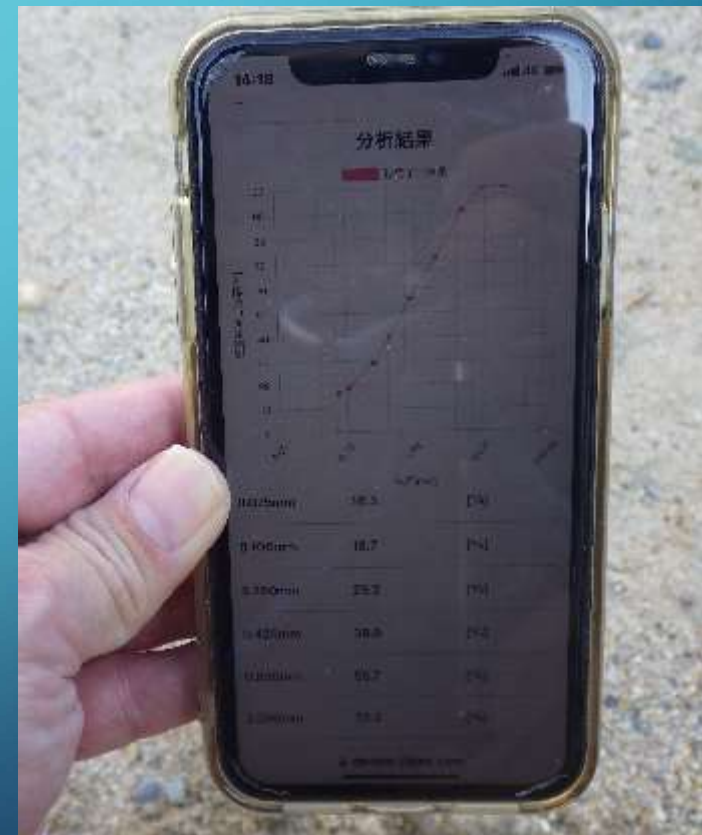
準備が整ったら、
アプリ画面の赤丸にターゲットを合わせます



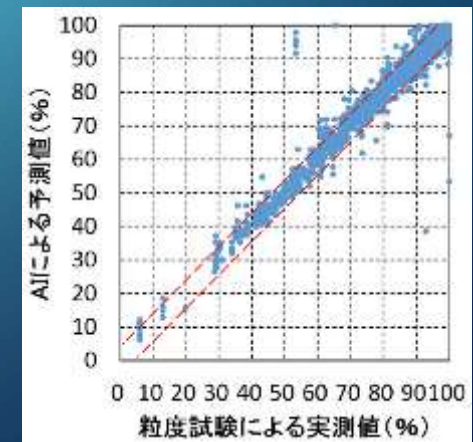
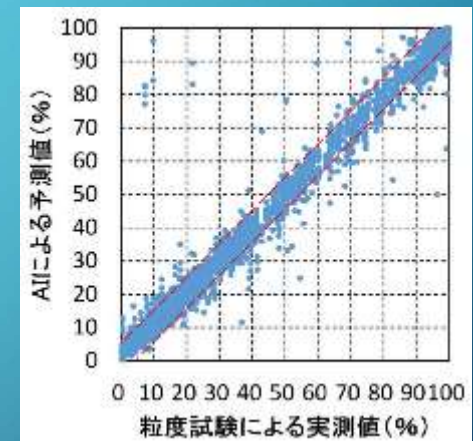
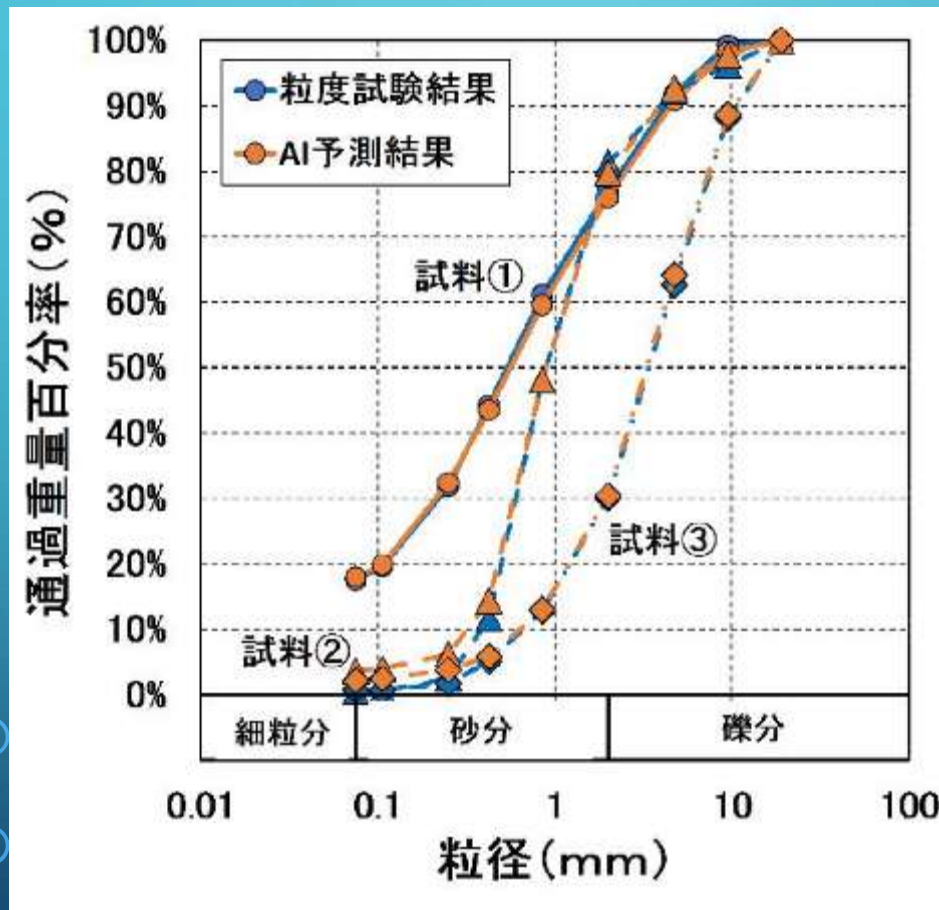
マーカー認識が難しい場合は
手動撮影ボタンを活用ください



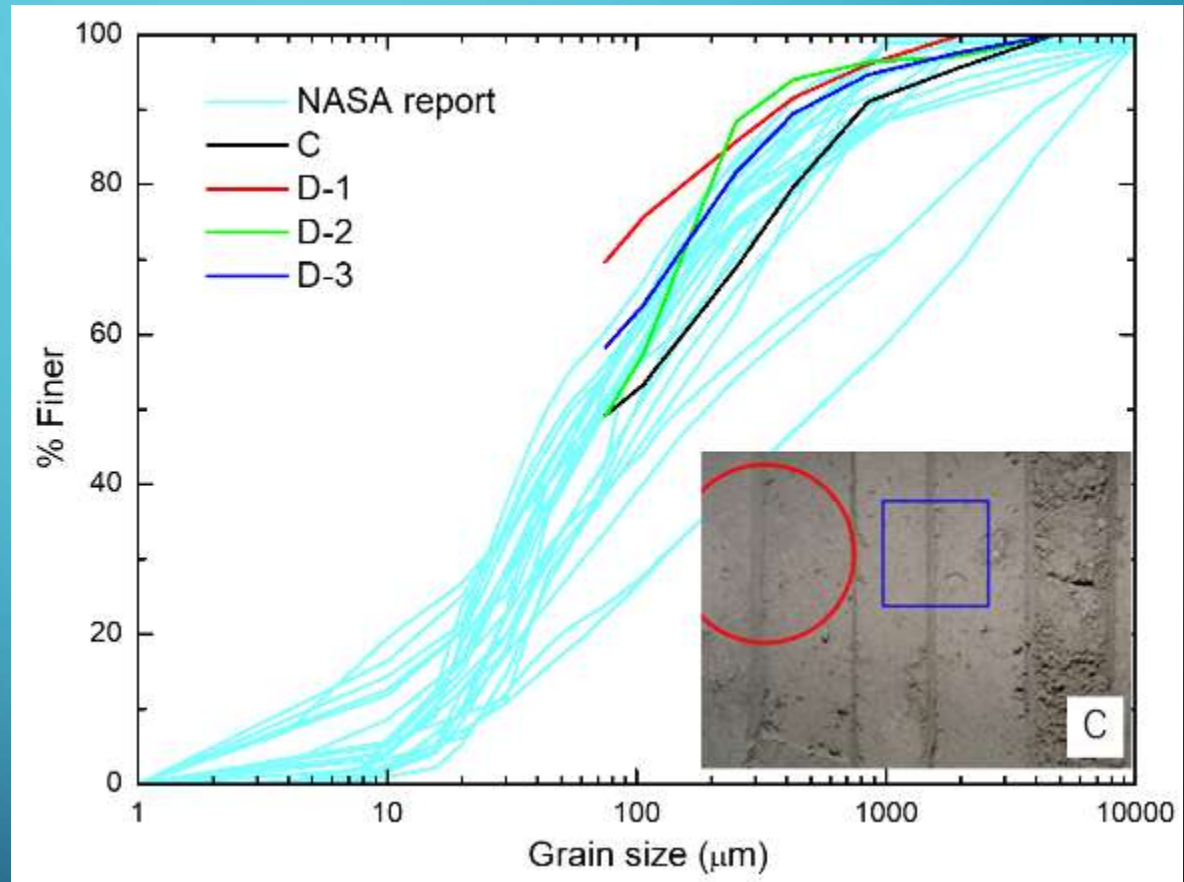
撮影が終了すると、
粒径加積曲線等が表示されます
(分析結果はCSVファイルでダウンロード
できます)



準備から結果を得るまで、わずか数分
過去の実績では±5%の精度を確保して
ます



アポロ14号の写真から 月の表面土の粒径を予測してみました



今後は、0.075mm未満の予測法を開発する予定です

ご注意

- 本アプリはiOS搭載機器ではデフォルト状態で動作を確認しておりますが、アンドロイドスマホでは一部で動作ができない場合があります。その際は、「PC版サイトへ移動」操作をすれば作動することがあります。
- 本アプリはwebアプリですので端末の通信状態の影響を受ける可能性があります。できるだけ通信状態の良い場所で使用してください。